

熊本県 省エネルギー設備等 モデル導入補助金

熊本県では、電力不足問題に対応するため、「熊本県省エネルギー設備等モデル導入補助金」を新たに創設、7月から補助金の募集を始めました。

3種類の省エネ設備などを導入し、その省エネ効果について県に報告いただける方や事業所に補助金を交付します。

募集期間が来年1月末までに延長されました。ぜひご利用ください。

問い合わせ先

県商工観光労働部エネルギー政策課
(096-333-2330)

住宅に

- ① スマートメーター
- ② LED照明など
- ③ 蓄電池・地中熱利用システム・エネファームのどれか1つ以上

補助内容	新たに導入する省エネ設備の種類	補助金額
	①+②+③	19万円
	①+③ (②を導入済みの場合)	17万円
	②+③ (①を導入済みの場合)	17万円
	③ (①、②を導入済みの場合)	15万円
募集期間	平成25年1月31日まで ※先着順・予定件数 150件	

事務所に (中小企業用)

- ① スマートメーター
- ② LED照明など
- ③ 蓄電池・地中熱利用システム・自家消費型太陽光発電システムのどれか1つ以上

補助内容	新たに導入する省エネ設備の種類	補助率 (補助金額)
	①+②+③	3分の1以内 上限 200万円
	①+③ (②を導入済みの場合)	
	②+③ (①を導入済みの場合)	
	③ (①、②を導入済みの場合)	
募集期間	平成25年1月31日まで ※先着順・予定件数 35件	

山都町観光案内所 ギャラリー喫茶 ルポン

☎72-1054

～12月ギャラリーのご案内～

「カズラアレンジ&押し花展」

12月1日(土)～12月27日(木)

るい工房 (木原晴栄)

木の実やドライフラワー造花などにさまざまなアレンジを施したカズラ工芸25点と、季節ごとに庭先を彩る花々で造った押し花20点が展示されます。

森の音楽会&てづくり市

冬の森の景色を味わいながら、モンゴル民謡やニュージーランド楽器の奏でる多国籍な音楽を聴きにきませんか?

12月15日(土) 午後2時 スタート

会場: 服掛松キャンプ場 囲炉裏のあるロッジ内

出演者: 三枝彩子 (モンゴル民謡オルティンドー)

須藤かよ (ピアノ・アコーディオン)

牛島大智 (ニュージーランド楽器ディジュリドゥ)

久保田りゅうじ (ギター)

チケット 前売り券 1,000円・当日券 1,300円

70歳以上 500円、小学生以下無料

また、同日は、場内にカレー屋、パン屋、クラフトの店やフリーマーケットが並ぶ「てづくり市」も開催されます。

問 服掛松キャンプ場 (83-0249)

首長会議 会場: 中央公民館



政府の施策について話し合った。人・農地プラン (地域農業マスタープラン: 農林水産省) や地域おこし協力隊 (総務省) などの施策を活用して、地域の担い手不足を補っていかうという共通認識になった。

第1分科会 会場: 通潤山荘



棚田の保全には担い手が大事。農業は目的ではなく生きるために行っている。棚田と担い手による農の恵みが幸せの収穫ではないだろうか。日本の中核である農業をどう楽しみ、守り支えていかを話し合った。

第3分科会 会場: 町立図書館



矢部高校生とともに、通潤橋を実際に見て、棚田の価値や文化をどうすれば継承していけるか議論した。そのためには、まず、地域の歴史や自然、自然の生業である農業を知ることが重要であるとの共通認識が生まれた。

今回の棚田サミットでは分科会も行われました。19日の事例発表のあと、参加者は4つの分科会、全国から参加した市町村長らによる「首長会議」に分かれました。総勢500人の参加者が、分科会ごとのテーマに沿って、頃の活動の内容や現状の問題点を語り合いました。



分科会で棚田保全について
熱い議論

各分科会のテーマ

第1分科会

地域が守る棚田の保全と活用

第2分科会

棚田が育み続ける自然と機能

第3分科会

棚田の景観を活かした持続可能な地域づくり

第4分科会

棚田を未来に引き継ぐ主体と方法

第2分科会 会場: 千寿苑



多面的機能のうち「生物多様性保全機能」について話し合った。生きものと同時に生きものへのまなざしや情愛も子どもたちに引き継がねばならない。そうすれば、日本型の環境支払いも実現できるだろう。

第4分科会 会場: 浜町体育館



棚田を引き継ぐには、後継者確保だけでなく、新規就農やIターンなどの受入による担い手確保も必要だとの提起もあった。当事者のみで議論するのは限界があり、必要な支援などを広く社会的にアピールしていくことが必要だ。